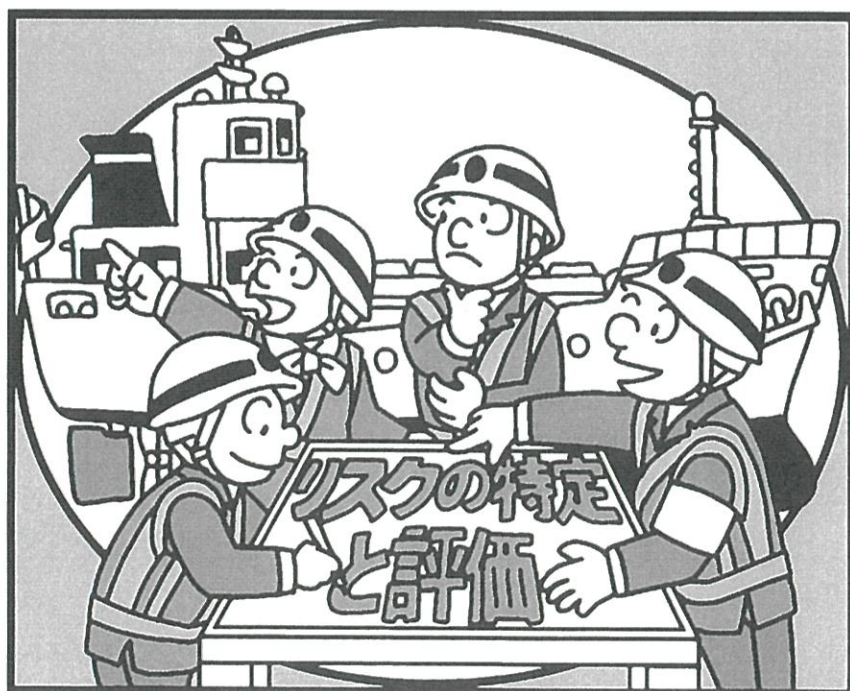


見本

船内の安全を先取りしよう

—リスクアセスメントの実務—

見本



船員災害防止協会

目次

[I] リスクアセスメントとは	1
1 ケガと健康障害の未然防止	1
2 リスクアセスメントの基本的な手順	2
3 危険性または有害性の特定	4
4 可能性・重大性の度合い	7
5 リスクレベル	9
6 リスクの優先度を定める	9
7 リスクを除去・低減する措置の検討・実施	10
8 残留リスクの対応	14
9 リスクアセスメントの意義と効果	15
10 リスクアセスメントの導入と実施体制の整備	17
11 危険性や有害性を調査する時期	21
[II] 船舶で行う簡便なリスクアセスメント	22
1 船舶で行うリスクアセスメントの方法	22
2 船舶で行う数値を用いないリスクアセスメント	23
2-1 ケガと健康障害の「可能性」	24
2-2 ケガと健康障害の「重大性」	25
2-3 危険・有害源に近づく「頻度」	28
2-4 リスクの「予備評価」	29
2-5 「予備評価」と「頻度」による「リスクレベル」	31
2-6 「リスクレベル」と措置の基準モデル	33

[III] リスクの特定と評価の事例	36
--------------------	----

事例-1 離着岸作業中の係船索による「はさまれ」	37
事例-2 離着岸作業中の係船索の切断	38
事例-3 マストからの転落	39
事例-4 乗組員によるコンテナ用ツイストスタッカーの 片付け	40
事例-5 船上クレーンの旋回範囲への立ち入り	41
事例-6 フェリーで車両誘導中の不安全な連携	42

危険性の事前評価



〔Ⅰ〕 リスクアセスメントとは

1 ケガと健康障害の未然防止

これまで、職場で実施されてきた作業者の安全対策は、「死傷災害（以下ケガといいます。）または健康障害の再発防止」が一般的であり、ケガまたは健康障害が発生するまでは、特に何も手を打たないことが少なくなかったのです。

しかしながら最近では、職場に存在している「ケガまたは健康障害が発生させるような危険な物及び状況」を前もって調べて、そのリスクを取り除き、または低減して、ケガまたは健康障害を未然に防止するという「安全の先取り」に変わりつつあります。

リスクアセスメントを文字通りに訳すと、危険性の事前評価ですが、その目指すところは、この「安全の先取り」です。

わかりやすく言えば、安全対策の取り組み方を従来の「災害をゼロ」にすることから「許容できない危険をゼロ」にすることです。

